

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	スカーレット
取組	(2) 地域の女性グループの活動支援
構成員数	5人(うち女性5名) (令和4年4月時点)

1 事業実施方針

温暖な気候の南信州は美味しい果物などの農産物の産地。規格外品を使った加工品製造販売のグループもいくつかあるが、既存の加工グループは平均年齢が高く既に各々の関係性が構築されてしまっている。独自のグループを編成することで地域に新たな風を吹き込み、地元農産物を使った新商品の開発と新規就農者の獲得に繋がりたいと考える。グループ立ち上げと同時にグループのページを作り、SNS発信の安全な環境を整え、メンバー各自が持続的に発信できるよう技術を修得する。同時に文章やデザインの学びをすることによって、しっかりとした方向性とコンセプトを持った発信を行う。グループ内で情報共有と役割分担をもって各自のスキルアップを目指す。メンバー全員で分担協力し持続可能な商品開発や販売を目指す。製作する商品はパウンドケーキ・ケーキサレとし、粉は小麦粉・米粉などを試し、具材は自農園の作物や地域の農産物で試作することで果物や野菜の新たな活用を見出す。製作した試作品はSNS発信を行い一般向けに市場調査を兼ねた商品の周知も図る。発信の回数を重ねることで、文章力や訴求力の質を向上させ、作業だけではなく農産物や加工品の販売することで得る達成感や充実感を体感し、魅力的な職業のひとつが農業という認識を確立させる。広い範囲への情報発信や地域の女性の集まる場所での試作品の試食配布などの活動の中で、地域の女性が農業へ関心を持つきっかけ作りになるよう取り組んでいく。新商品の開発には参考となる商品を広く全国から検索し、実際に取り寄せしてパッケージデザイン、味、コストパフォーマンスなど項目を設け、自らの試作品と同じアンケートフォームを活用し比較検証し商品化へ向けて検討材料とする。地域の中で実際に地元農産物を使い販売しているお店を訪問し、店主に話を聞くことで今後の方向性のイメージ作りのヒントとする。SNSや実食などの市場調査の中で人気のあったレシピは、今後の販売商品の候補として次年度以降の事業に生かしていくことを目的とする。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

製品の試作は、会員の作業の利便性を考え町内の法人の貸スペースを利用し、開発会議と写真撮影も店舗を利用する。原料に米粉や自農園の果物を使い、野菜やきのこ、ジビエなどは地元農産物販売所から仕入れ幅広く地元農産物を利用し、地域の農産物の活用と地元のファンを獲得する。新規就農の会員の農作物も使い、やりがいを体感して安定した農業経営の学びのひとつとする。家庭菜園で作る野菜や珍しい果物も利用可能かどうか検証し今後の原料仕入れのデータとして検証する。

情報発信は全員交代で行い、月1回の作業で数種類試作品を製作し分担して発信する。SNS発信でのリアルな反応で学ぶ厳しさや喜びも、グループの仲間と共有することで、より深く検証することが可能となる。事業の最初に講師のサポートのもとに、グループのページを立ち上げ、全員で管理発信できる環境作りを行う。発信の基礎を最初に学び、途中でデザイン面からの講師の方に検証と今後の方向性を学ぶ。試作品は子育て支援センターや子ども食堂の主催者に協力をお願いして、未就園児や児童の集う会へ赴き試食とアンケートを行う。育児中の女性と繋がるなどして、製品の市場調査を兼ねた女性の新規就農者獲得へのきっかけ作りも行う。また松川町役場農業振興係（営農支援センターみらい）と連携して松川町農業女子会の開催時や農業イベントに合わせて試食とアンケートを依頼し意見交換を行う。会員の中から事業に賛同して一緒に活動していく仲間を増やす。他にも女性の新規就農者の情報を共有し、会への勧誘や事業見学への声掛けを行う。次年度以降の商品化へ向けてパッケージデザインや味、値段設定などのコストパフォーマンスの参考となる商品を実際に購入し会員で検証を行い商品開発の研究を行う。アンケートは試作品と取り寄せ品との項目を統一し数値化して最後にわかりやすくまとめることのできるような設問にしておく。本年度の事業の最後にSNS発信とアンケートの結果を講師と共に検証する。実際に地域の食材を利用している店舗に行き店主にお話しをお聞きし、自分たちの製品作りのヒントを見つける。合わせて松川町役場農業振興係（営農支援センターみらい）やJAなどに相談し、製造販売可能な加工所の情報集めも随時行っていく。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者（女性1名以上を含む）の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
地元農産物を使い試作品の製作	月1回～2回	
製品のSNS発信	月5回～10回	
子育て世代へ試食会（子育て支援センター訪問）	月1回～2回	
農業女子会との交流	年2～3回	
アンケート調査	年260人（延べ人数）	

(注) 「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
女性農業者の活躍の場所づくり	月1～2回	

地元で栽培している果物や野菜を使い商品開発と商品化への検証	月 1～2 回	
S N S で商品紹介とグループ活動の魅力発信	月 1～12 回	
女性の収入増のための商品開発の勉強会	年 3 回	
試作品・取り寄せ品のアンケート調査	年 130+30+30 回	
松川町農業女子会のメンバーと意見交換会	年 2～3 回	
子育て中の女性との交流の機会	年 13 回	
地域のお店を訪問し、地元農家との関わり方を学ぶ	年 4 回	

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容 (対象者・方法等)	備考

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の(1)の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	S N S 発信をしていない・わからない。新商品の開発の調査方法がわからない。
②	商品として売れるのものはどんなものか。地域の農産物の新たな活用をいろいろ試したい。

③	年代の違う女性との接点がない。農業の楽しさを伝えられない。

【課題解決のための補助事業（概要）】※課題番号に対応するように記入ください。

①	<p>セミナーの開催（3回）</p> <p>設定から発信のやり方までの基礎を学ぶことでスキルアップにつなげる。自分たちのグループのページを作成して実際に発信し、デザインや文章、発信方法などデザインや伝え方の講師と検証し文章力や表現力を磨く。具体的な質問を設けたアンケートを実施する。アンケートやSNSの反応をもとに総合的に判断する力を手に入れ農業経営に生かす。</p>
②	<p>試作品を作りSNS発信をして一般の方の反応を検証する。</p> <p>地域の小売店や店舗を持たない小売業者を訪問して、地域の方との関わり方や農産物の取り入れ方など、地元ならではの話を聞きし参考とする。</p> <p>気になる商品を実際に通販で購入して、味やコストパフォーマンス、パッケージデザインなどを検証し、商品開発に生かす。</p>
③	<p>子育て支援センターや農業女子会などで実際に試食してもらい、女性目線のデザインや味の評価をもらう。</p> <p>試食をきっかけにして、世代の違う女性との会話を持つことで、農業に関心を持ってもらう。</p>

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	メンバー全員SNS発信ができるようになる。試作品のアンケートは項目を設けて具体的な数字を打ち出し細かく検証する。商品化へ向けて通販サイトを立ち上げる準備をする
②	アンケートなどをもとに主力商品を3～5種類くらいに絞る。通販で取り寄せた商品などを参考にパッケージデザインの案を練る。
③	何度か試食の機会を重ねて、会話などお互いに信頼関係を築き、次年度以降一緒に活動する女性農業者を増やす

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	2022年6月 2023年1月	対象者：グループメンバー5人 SNSグループページ立ち上げと使い方、アンケート結果検証セミナー	謝金 54,546円 会議費 3,638円	謝金×2回 謝金規定に基づき算出

		講師 2 名		会議費 2 回
①	2022 年 8 月	対象者：グループメンバー5 人 SNS 発信のデザイン、文章セミナー の開催 講師 1 名	謝金 27,273 円 会議費 1,819 円	謝金×1 回 謝金規定に基 づき算出 会議費 1 回
②	2022 年 6 月 ～2023 年 1 月	対象者：グループメンバー5 人 商品化へ向けた試作品製作と SNS 発信の写真撮影 年間 13 回 味とパッケージデザインの研究会 年間 6 回	消耗品費 263,816 円 消耗品費 36,941 円 会議費 34,542 円	試作品材料費 味の研究費 会議費 19 回
②	2022 年 6 月 ～2023 年 1 月	対象者：グループメンバー5 人 地域のお店を回って、地元農産物との かかわり方のお話を聞く	謝金 27,273 円	5,000 円×6 店舗 謝金規定に基 づき算出
③	2022 年 6 月 ～2023 年 1 月	子育て支援センターや農業女子会へ 試作品の試食とアンケートの依頼活 動	消耗品費 13,759 円	アンケート用 包装資材

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	2 人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者 人、雇用就農者 人、アルバイト・ボランティア等 人	2

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間 30 日以上の方とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。